

週刊大貫のり夫

市政ファイルNo.432

日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2014年4月23日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6



IPCC第38回総会が横浜で開催

今世紀末 洪水被害3倍、熱中症死2倍

IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の第38回総会が、3月25～29日に横浜市で開催され、100か国以上、約500人の科学者や政府代表が参加しました（写真右）。IPCCの会議が日本で行われたのは今回が初めてです。

IPCCは、深刻化する地球温暖化に対処するために、温室効果ガスの排出削減について検討してきた国連の専門家会議です。各国の温暖化問題の専門家の研究成果を集約し、1990年以降、評価報告書にまとめてきました。

IPCCの3つの作業部会のうち第1作業部会は昨年9月、18世紀の産業革命以降地球の気温は上がり続けており、今世紀末には最大4.8度上昇すると予測。その影響を今回の報告は「8つのリスク（危険）」としてまとめています。（次頁に続く）



無料法律相談 5月1日、15日 第1、3木曜 午後7時から 予約制（大貫へ）
090-5311-1879

横浜市 時代に逆行 太陽光発電システム設置補助等を削減

気温上昇を抑えるためには、省エネルギーと、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーの利用の拡大が不可欠です。

ところが、横浜市では、2005年から始めた住宅用太陽光発電システムの設置に対する補助制度を昨年度でとりやめました。代わりに出され

たのが、省エネ・再エネ設備の設置補助事業です。これは、住宅内の電気使用状況を見える化し、電気機器を一括管理するシステムであるHEMS（ヘムス、家庭用エネルギー管理システム）設置に対する補助です。

これらと比べると、太陽熱利用システム設置補助を含めても、昨年度

に比べて予算額は約6割、補助件数は約7割削減です。

HEMSの設置は省エネにもつながるため、これに対する補助は有用です。しかし、補助額と補助件数を減らして、2020年度までに戸建住宅の10%に太陽光発電を導入という目標を達成できるのでしょうか。各家庭が再生可能エネルギーを導入する後押しを積極的に進める必要があります。

再エネに関する横浜市の補助事業 2013年度

住宅用太陽光・太陽熱利用システム設置費補助事業 1億1,600万円

太陽光発電システム設置補助 2000件
太陽熱利用システム設置補助 100件

2014年度

省エネ・再エネ設備の設置補助 4,791万円
住宅用スマートエネルギー補助 600件
(HEMS、HEMS+家庭用燃料電池システム、
HEMS+燃料電池+太陽光発電システム)
太陽熱利用システム設置補助 50件分

(前頁より)

今回横浜で開かれた第2作業部会では、こうした急速な温暖化による気候変動が、海面の上昇や生態系の破壊、水や食糧の不足、戦争まで起こしかねないことへの「懸念」を表明しました。

温暖化の8つのリスク

1. 海面上昇、高潮
2. 洪水
3. 異常気象によるインフラ機能停止
4. 熱波による死亡、健康被害
5. 高温、干ばつによる食料供給システム崩壊
6. 水不足や農作物減産による農村部の経済被害
7. 海洋生態系の損失
8. 陸域や内水の生態系の損失

卑怯な忖度 (そんたく)

社会全体が危なくなってきたのか

「忖度」を辞書で引くと、「他人の気持ちを押し量ること」とあります。

平和を守ろう、憲法を守ろうという集会に対し、今までは使うことのできた会場の利用や、今までしてきた後援を拒否する自治体が相次いでいるとのこと。

報道によれば、千葉県白井市では「しろい・九条の会」の講演会の後援を拒否。千葉市では、護憲派弁護士の講演する「平和を願う市民のつどい」の後援を拒否。那須塩原市では、原発建設を撤回させた新潟巻町のドラマ「渡されたバトン さよなら原発」が「公共性がない」として後援を断られたとのこと。

高知では、市民団体などがカンパを募り土佐電鉄の路面電車に「守ろう平和憲法」「9条は世界の宝」と書いた車両を走らせていましたが、



自治体や企業の自主規制を報じる
赤旗、東京新聞の記事

「政治的に受け取られるかもしれない」として、同社は今年から中止を決めたとのこと。

自治体や公共的企業が、安倍首相や極右議員、右翼団体の気持ちや雰囲気や忖度し、先取りして自主規制をしてしまう。

保身のために権力にへつらい、圧力に怯え、面倒を避けることを最優先する卑怯な行動に胸騒ぎがします。



小松菜

庭先を掘り返して家庭菜園を始めました。知人のその道10年のUさんの指導のもと、生まれて初めて、野菜の種をまいて1カ月。芽が出たあと、初めは頼りなさそうでしたが、この頃の穀雨に誘われて小松菜がすくすくと育っています。

核兵器のない平和な世界をめざし 今年も歩きます 平和行進！

今年も網の目平和行進が、8月に広島で開かれる原水爆禁止世界大会への参加を呼びかけながら、5月10日に、都筑区、青葉区、緑区を通ります。核兵器廃絶を願う人なら、誰でも参加出来ます。



昨年5月10日の平和行進出発集会
＝都筑区役所前

主な通過ポイントと予定時間

- ★ 8:20 都筑区役所前集合
- ★ 8:45 都筑区役所前出発
- ★ 10:00 江田駅出発
- ★ 10:45 青葉区役所前
(区長より挨拶予定)
- ★ 12:00 コープ桜台店
(昼食休憩)
- ★ 13:00 コープ桜台店出発
- ★ 13:45 十日市場駅前通過
- ★ 14:20 みどり野診療所(休憩)
- ★ 14:40 みどり野診療所出発
- ★ 15:50 緑区役所前 終結集会
(区長より挨拶予定)

いま国際政治は、核兵器禁止条約の交渉開始にむけて大きく動いています。核保有国と一部の同盟国が決断すれば交渉は始められます。核兵器の非人道性が多くの国に共有され、ここから廃絶を迫る動きも活発です。被爆70年の節目に開かれる来年の核不拡散条約(NPT)再検討会議は「核兵器のない世界」の実現が問われる会議となります。

核兵器のない平和な世界をめざし、一緒に歩きましょう！ ちょっとだけでもOKです。



ミジンコの独り言 たけのこは鍋にお湯を沸かしてから取りに行けといわれるが、切ってからも成長し続ける。そこで、さっさと火を通して成長を止めないとえぐみが強くなる。皮はおにぎりを包むのによい。大きくなって竹になったら、七夕飾りやかぐや姫のお宿に。地震の時には竹やぶへ。役に立つ植物だ。(M)